



## 令和3年度 第73回入学式 式辞

校長 小松 進一

校庭や正門の木々の美しい新緑が、本格的な春の訪れを感じる今日の佳き日、皆さんのご入学を心からお祝い申し上げます。新入生の皆さん、東原中学校へのご入学おめでとうございます。今日は参列していませんが、2、3年生の先輩方、そして教職員一同、皆さんのご入学を心待ちにしていました。本来ならば、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第73回入学式を挙行いたしたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかつたことに対して、新入生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。校長として、皆様にお詫び申し上げます。

さて、新入生の皆さん、先ほど、担任の先生から名前を呼ばれ、大きな返事と起立する様子を見ていましたが、とても立派でした。頼もしくさえ感じました。今、皆さんを見守っている保護者の皆様も、きっと同じように感じたのではないでしょうか。もう小学生ではなく、中学生なんだという自覚と決意が感じられました。しかし、当然のことですが不安感や緊張感もありますよね。皆さんには、それに、東原中学校に入学したらこんなことを頑張るぞという抱負があると思います。勉強のことであったり、部活動であったり、中には、生徒会活動や行事を頑張るという人もいるかも知れません。新たなスタートラインに立ち、何かを始めようとする時、自分の考えを示すことは大事なことです。そして、自分の考えを実行することはもっと大切です。色々なことにチャレンジしてみると、新たな自分を発見したり、仲間と力を合わせることの楽しさを味わえたり、充実感を味わうことができます。ところが、思うようにいかないこともあります。苦しいことや辛いことから逃げ出したいこともあります。しかし、苦しいことや辛いことを乗り越えることで、大きな自信となり、人間として成長することができます。

そこで、皆さん、これから3年間東原中学校で学ぶにあたり、自分を成長させるための4つのキーワードを贈りたいと思います。

1点目は「示す」です。先ほど、自分の考えを示すことと言いましたが、それは、「自分を相手に示す」ということです。自分の考え方、意見、感想、疑問などを、色々な人、相手に示すということです。ここからコミュニケーションが始まります。コミュニケーションは、相手に自分を理解してもらう、また、相手を理解する最も重要な行動になります。

2点目は「動く」です。動くとは、むやみやたらに動き回ったり、体を動かしたりすることではありません。自分の考えに基づいて、目標をもって行動するということです。

3点目は「喜びを分かち合う」です。ニコッとするような小さな喜びでいいので、みんなで喜びを分かち合えるそんな関係をつくってください。今日の喜びが明日を生きる糧になります。また、喜びは人を笑顔にします。私も皆さんと喜びを分かち合い、笑顔を絶やさないでいきたいと思っています。

4点目は「挑む」です。「挑戦する」と言った方がわかりやすいかも知れません。挑戦する。やってみることです。困難に立ち向かう気持ちです。ちょっと勇気を出してやってみる。時には大きな決断を迫られるようなことがあるかも知れません。そんな時、自分の心に「一步前に」とそっと声をかけてください。

これまで紹介した4つのキーワードは、自分を成長させるためのものです。うまくいかなかったり、何かに悩んだりしたとき、また、思い通りにいったときにもこのキーワードを思い出してみてください。きっと皆さんの成長に役立つと思います。

そして、もう一つ、皆さんには「見聞を広める」ということを意識してください。少し難しい言葉かも知れませんが、見聞とは「見る」と「聞く」とかきますが、自分の目で見たり、耳で聞いたりすることによって豊富な知識を得ることができます。令和3年度の東原中学校では、各分野の専門知識や経験をもった方々をお招きして、授業や講演会を行う予定です。中学校生活でのあらゆる機会を利用して、見聞を広めてください。さらに、自分自身を見つめ生き方を考えてほしいと思っています。

最後に、東原中学校の教育目標を紹介します。自他の生命を尊び、心身の健康と豊かな人間性を養い、生涯を通して「学びながら自分を伸ばしていく」ための基礎となる力を育成するために、次の目標を設定しています。

1 自主（すすんで学び、自ら考える人になろう。） 2 感性（豊かな心をもち、たくましく生きる人になろう。） 3 共生（互いを尊重し、共に高め合う人になろう。）

先ほどの4つのキーワードにも関わってきますので、この教育目標も意識しながら学校生活を送ってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校3年間はお子様の成長が著しいときです。心身ともに大きく成長し、大人への第一歩を踏み出していく。新しい時代に生きる新入生が、豊かな心をもち、社会の一員として、自ら考えて行動できる人として、たくましく成長していくことを、私たち教職員一同、全力を投じて教育にあたります。子どもたちの健やかな成長と本校教育の発展のために、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さん、自分という人間を大切にし、そして、自分の周りの人たちの幸せを考えて行動できる中学生として成長していくことを願い式辞いたします。

## 歓迎の言葉

第3学年 吉田 真穂

暖かい春の風が心地よい季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

入学式を迎えた今、皆さんはどのような気持ちでしょうか。きっと、これから始まる東原中学校での生活に、期待や不安でいっぱいだと思います。2年前の私もそうでした。部活や行事はどのようなものなのか。先生方や先輩方はどんな方々なのか。東原中とはどのような学校なのか。初めてのことばかりの生活が楽しみであると同時に、大きな不安を感じていました。しかし、そのような心配は必要ありませんでした。一人一人に寄り添ってくださる先生方やたくさんの仲間のおかげで、私は今とても充実した学校生活を送ることができます。皆さんも大丈夫です。何か分からないことや悩みがあれば、いつでも私たち先輩を頼ってください。東原の先輩たちは、優しく思いやりのある人たちばかりですので、安心してください。今日は、皆さんに東原中について詳しく知っていただくため、東原中の特徴を3つ紹介させていただきます。

まずは、東原の校風「自由と責任」です。普段の生活や行事は、生徒が中心となって自ら考え、行動することで作り上げています。先生方に全てを任せるとではなく、自分たちで話し合い、ルールを決めたり様々な活動を行ったりしています。生徒が自分たちで物事を決めることができるという「自由」があるのです。ですが、自由だからといって何でもやっていい訳ではありません。自分の言葉に責任をもつ必要があります。生徒一人一人が物事の善し悪しを自分で判断し責任をもって生活できているからこそ、「自由と責任」という校風が成り立っています。

2点目は、校歌です。東原中学校の校歌はア・カペラの混声四部合唱と珍しく、私たち東原中生の自慢です。後ほどお聴かせしますので、楽しみにしていてください。

3点目は、「あいさつ」です。東原中では、「あいさつ」が伝統となっており、部活や学年に関係なく、廊下ですれ違う先生方や生徒全員と明るくあいさつを交わしています。私たちが積極的にあいさつをしますので、皆さんもぜひあいさつを返してください。

今日から皆さんも、東原中生の仲間入りです。中学校生活で皆さんに大切にしていただきたいのは、「挑戦する」ことです。何事も行動しなければ始まりません。挑戦する気持ちを忘れず、中学校生活を充実したものにしてください。

私たちと共に、楽しく充実した学校生活を送りましょう。

## 新入生誓いの言葉

新入生代表 齊藤 千夏

あたたかい春風とともに私たちは東原中学校の門をくぐりました。本日は、コロナ禍の中、すてきな入学式を行っていただきありがとうございます。

東原中学校では校歌がア・カペラという他校にはない独創的な発想が、小学校で3年間合唱をしていました私にとってすごく楽しみに思いました。また、部活動では、小学校ではやらなかった混声合唱を行う混声合唱団に入りコンクールに出て、3年間やってきた成果を出したいなと思っており、新しく始まる学校生活に期待を感じています。

一方で、「友達と仲良くできるのか」「孤立してしまうのではないか」などの人間関係や「授業は、おいくつか」「成績はどうなるのだろうか」などの勉強面で不安に思うこともあります。時には辛いことや大変なことがあるかもしれません。その時は先生方や先輩方にアドバイスやお力をいただいて、仲間と協力しあい精進していきたいなと思っています。

最後になりますが、これからお世話になる先生方や先輩方、私達新入生をあたたかい目で見守り、ご指導くださいますよう、よろしくお願ひいたします。